

教科	地理歴史	科目	歴史総合	年次	1	単位数	2
使用教科書 (副教材など)		わたしたちの歴史 日本から世界へ (山川出版社)					

学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指します。	
評価の観点	① 知識・技能	それぞれの歴史的な事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解しようとしている。諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けようとしている。
	② 思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を身に付けようとしている。
	③ 主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、日本国民としての自覚と国の歴史に対する愛情を身に付けようとしている。
評価の方法	定期考査に加え、提出物(学習プリント等)、小テストの成績、作成したレポートや資料などを総合的に評価します。また、平常の取組についても評価の対象とし、授業態度等を、総合的に評価します。	

	単元	学習内容
前期	1 歴史の舞台	・18世紀以前の各地域の風土や歴史を概観することにより、日本との違いや共通点について理解します。
	2 歴史の扉	・身近な諸事象と日本や世界の歴史とのつながりを理解します。諸資料を活用することにより、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組みます。
	3 近代化と私たち	・交通と貿易、産業と人口と政治参加や国民の義務など近代化に伴う生活や社会の変容について理解します。  ・19世紀から20世紀初頭にかけてのヨーロッパ・アジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、19世紀から20世紀初頭のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察します。
後期	4 国際秩序の変化や大衆化と私たち	・国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と参戦各国の社会の変化について理解します。  ・第二次世界大戦後の各国の変化や、冷戦及び冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら理解します。
	5 グローバル化と私たち	・55年体制の形成から高度経済成長に至る日本の動きを、冷戦下の国際情勢を踏まえながらその中に位置付けて理解します。  ・持続可能な社会の実現を視野に入れることにより、自ら主題を設定し、歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解し、今後の展望について多面的に考察します。